Reform Clinic by Dr.Kumiko

Shinsaibasi Reform Magazine vol.15

コンテンツのなかには多くのbefore & after例を紹介していますが、ここでは私がいつもさせていただいているフィッティングの模様をご紹介します。捨てられなくて箪笥のなかで眠っていた名品の数々はこうして生まれ変わりますという仕上がりも同時にご覧いただければ幸いです。

今回はこの春リニューアルした弊社WEBサイトのトップページで掲載しております旬のシルエットとディテールの詳細を紹介させて頂きたいと存じます。

内本久美子_Uchimoto Kumiko

心斎橋リフォーム副社長
丸の内店店長兼チーフフィッター
大阪府大阪市出身０型 蠍座

大手百貨店の販売を経て、個人でお直し工房をはじめる。職人の手ほどきを受け、ゼロからスキルアップを果たす。心斎橋リフォームの礎となる接客から始めるリフォームを築き上げた同社の顔であり、業界のパイオニア的存在でもある。

Reform Clinic
by
Dr.Kumiko

一昨年、東京の旗艦店がオープンする際、弊社WEBサイトは大幅リニューアルを行ないました。あれから一年を経た今春からはトップページを季節毎に更新し”旬のお直し”をご提案させて頂くことに致しました。と申しますのも弊社は単にサイズを修正するお直し屋さんとしての役割だけではなく、最旬のサイズ感やディテールを備える事ができる皆さまの良きファッションアドバイザーであるという立ち位置を多くの皆さまに知っていただきたいと思ったからです。今回ご紹介するのは2018年春、お勧めのジャケットスタイルの提案です。皆さまのお手元にありそうなベーシックなワードローブをベースにさせていただきましたので、よりリアルではないかと思います。

モデルは呉山賢治さんにお願いしました。呉山さんはCMや雑誌をはじめ、昨年は初舞台も踏まれた今最も注目されているモデルのおひとりです。大阪のご出身ということで私共とは切っても切れない縁を感じております。

さて呉山さんのヌード寸ですが、身長184cm・胸囲95cm・ウエスト80cm・ヒップ95cmです。既製品のスーツはイタリアサイズの48が一番近いサイズですが、日頃からスポーツジムでトレーニングされていると聞いていますから胸筋、背筋、そして上腕はかなり張っておられます。それに比べ、下半身はスリムなウエストで、腿やヒップは筋肉で覆われていますからワンサイズ程度大きなモノからサイズダウンしていった方がバランスの良いシルエットが作れると思い、今回は上下ともに52サイズのものを用意しました。

では、具体的にお直しのポイントについて記して参りたいと存じます。

1 バックスタイルはご覧のとおり大きな抱きジワが出来ており、全くシルエットがでていません。

2 また肩幅も広く、着丈も中途半端な長さになっています。

3 アーム幅もこれでは太すぎます。

4 インナーのシャツは少し首回りが大きく、またワイドスプレッドを合わせた事で着こなしに新鮮味がありません。

BEFORE

5

次にボトムはご覧の通り、ウエストをベルトでぎゅっと絞ると腿周りに弛みが出でしまいとてもだらしない印象になっています。

6

パンツ丈も中途半端ですね。

AFTER

AFTER

1

チェスト、着丈、肩幅、アームをすべて現代的にリフォームしました。ポイントは以前の様にタイト過ぎないことと、着丈を少し長めに採ることです。これで印象は大きく変わります。

2

インナーのシャツは、ワイドスプレッドからラウンドのタブカラーに。キュッと引き締まったネクタイのノットが今どき感溢れます。

3

パンツはフロントにプリーツを採り、ベルトループを外してサイドアジャスタ付きのベルトレスに仕上げました。こうすることで腰回りがスッキリと見えます。

4

裾はクッションを取らず、タブル幅も少し高めに採るのが今どきの気分です。

こうして見比べてみれば差は一目歴然ですが、細部に渡る細かいお直しの集大成が旬のスタイルを作るという事がお解りいただけましたか。

皆さんのお宅にあるものも、このように新しい印象に甦る可能性を秘めております。見積り・ご相談は無料です。どうぞ御気軽に心斎橋リフォームの扉を叩いてください。